

第 185 回 役員 会 議 事 録 (要 録)

平成25. 7. 2 (火) 15:17 ~ 17:00

場 所 : 法人本部棟5F3会議室

出席者	浅原, 坂越, 上, 吉田, 岡本, 茶山, 平野 以上役員 7名
欠席者	
オブザーバー	西口, 間田, 相田, 江坂, 佐藤, 富永, 平川, 神谷, 河村
<p>(議事)</p> <p>1. 職員宿舎の改修等について ----- 別紙1 (平野理事(財務・総務担当)提案・説明)</p> <p>今後10年程度は活用していく予定の「ががら第一職員宿舎3号棟」について, 宿舎貸付料収入による6年間の学内償還計画に基づき必要最低限の耐震改修を行うことについて提案・説明があり, 審議の結果, 原案のとおり承認した。</p> <p>(報告)</p> <p>1. 広島大学基金運営委員会の設置について ----- 資料1 (学長報告)</p> <p>学内外の幅広い意見を聴きながら広島大学基金の募集の推進を検討するため, 広島大学基金運営委員会を設置したことについて報告があった。</p> <p>2. 時間外労働及び休日労働の実績について ----- 資料2 (平野理事(財務・総務担当)報告)</p> <p>平成25年4月における時間外労働及び休日労働の実績について報告があり, 引き続き時間外労働等の縮減に努めることとした。</p> <p>3. 役員会における継続検討事項について ----- 資料3</p> <p>担当副学長から, 以下の検討事項の進捗状況について報告があった。なお, 学長から, 対応済みとして整理されている事項の中にもまだ実施できていないものがあるので, 実施状況を確認・報告するよう指示があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人教員の雇用促進に関する具体案 ・ 大学院入学のTOEIC基準点の設定について検討 ・ インターンシップ事業に係る財源の確保策の検討 <p>4. 各室報告 ----- 資料4</p> <p>各担当理事及び副学長から, 各室の課題に関する進捗状況等について報告があった。</p>	

(意見交換)

1. 大学院の学生のための国際学会発表支援について

(坂越理事(教育担当)説明)

本学大学院の学生が国際学会で発表する際の経済的支援を行うために措置している総額2,000万円の配分方法等について説明があった。

2. 東千田キャンパスの知的人材育成センター(仮称)の整備計画について

(河野学長特命補佐(地域医療(地対協)・東千田担当)説明)

東千田キャンパス機能充実WGの答申として、東千田キャンパスに設置予定の知的人材育成センター(仮称)における広島地区学生への教養教育実施体制及び大学間・産業界等との連携による教育・研究の実施体制並びに整備スケジュールについての説明があった。

3. 知的人材育成センター(仮称)における教育・研究プロジェクトの公募要領について

(河野学長特命補佐(地域医療(地対協)・東千田担当)説明)

知的人材育成センター(仮称)における大学間・産業界等との連携による教育・研究プロジェクトの公募要領案について説明があった。なお、公募要領については、本日の意見交換を踏まえて修正の上、再度意見交換することとした。

4. 平成26年度の教員の人員配分の運用について

(平野理事(財務・総務担当)説明)

「平成22年度以降の教員の人員配分の基本方針」の平成25年度以降の運用について(平成24年10月30日役員会承認)に基づく、平成26年度の全学調整分の配分案について説明があった。本件については、次回の部局長等意見交換会において意見交換を行うこととした。

5. 研究大学に向けた人事給与システムについて

(平野理事(財務・総務担当)説明)

若手・外国人教員の採用を促進するため、特任教員及び寄附講座等教員に加えて研究員(U R A)も年俸制の適用対象とすることや、承継職員枠の前倒しによる選択的年俸制の導入を平成25年10月1日からの実施に向けて検討することについて説明があった。本件については、次回の部局長等意見交換会において意見交換を行うこととした。

以上(資料添付略)